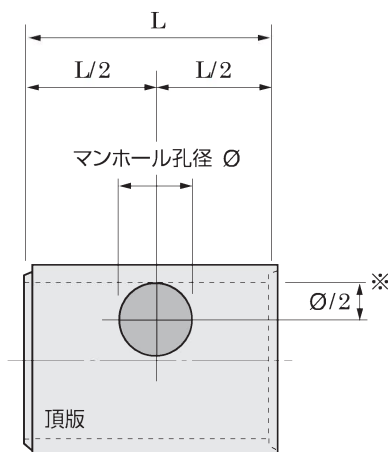


寸法の許容差

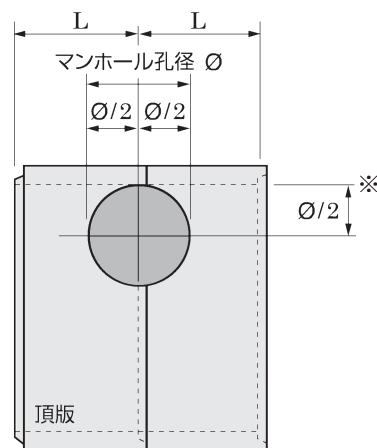
呼び寸法	寸法の許容差 (mm)		
	内幅および内高	厚さ	有効長
600 X 600 ~ 900 X 900	± 4	+ 4 - 2	+ 10 - 5
1000 X 800 ~ 2500 X 2500	± 6	+ 6 - 3	
2800 X 1500 ~ 3000 X 3000	± 7	+ 6 - 4	
3500 X 2000 ~ 5000 X 2500	± 10	+ 8 - 4	

マンホール用のボックスカルバートの形状

製品1本に対してマンホール孔を形成する場合



製品2本にわたってマンホール孔を形成する場合



- ※の位置は、通常敷設型については側壁の内面とし、縦方向連結型についてはハンチの先端とする。

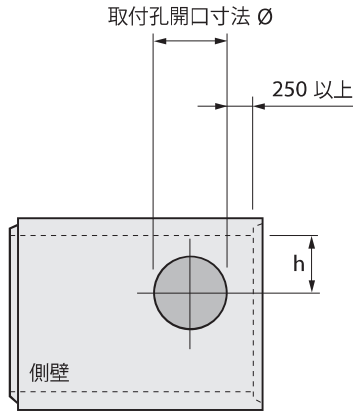
製品の有効長とマンホール孔径との関係

有効長 L (mm)	マンホール孔径 φ (mm)	
	製品1本に対してマンホール孔を形成する場合	製品2本にわたってマンホール孔を形成する場合
2000	600, 900	600, 900
1500	600	600, 900
1000	—	600, 900

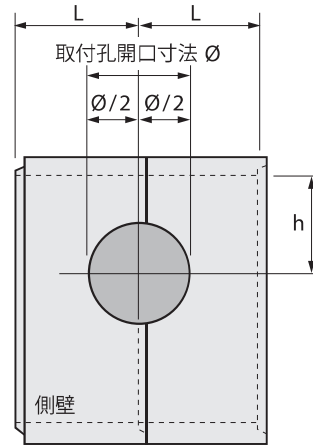
- 呼び寸法 800 X 800 以下のボックスカルバートのマンホール孔径は、製品の有効長にかかわらず 600 mm とする。

取付管用ボックスカルバートの形状

製品1本に対して取付孔を形成する場合



製品2本にわたって取付孔を形成する場合



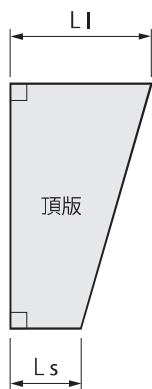
製品の有効長と取付孔の開口寸法との関係

有効長 L (mm)	取付孔開口寸法 φ (mm)	
	製品1本に対して取付孔を形成する場合	製品2本にわたって取付孔を形成する場合
2000	φ 900 以下	φ 1500 以下
1500	φ 700 以下	φ 1350 以下
1000	φ 400 以下	φ 900 以下

- 開口部と製品端部との距離は、250 mm 以上あることを原則とする。
- h 寸法は、現地の高さに合わせるものとするが、縦方向連結型については、ハンチを避けた位置に取付孔を設けることとする。
- 調整用ボックスカルバートの長さは、600 mm 以上とする。

斜角用ボックスカルバートの形状

片斜角の長辺および短辺の長さの範囲 (RC)



呼び寸法	有効長 L (mm)	L1 / Ls の範囲	L1 · Ls の範囲	
			最小値	最大値
600×600～2000×2000	2000	1.8 以下		
2200×1800～2500×2500	1500	1.8 以下	600 以上	製造方法に準じる
2800×1500～3500×2500	1000	1.5 以下		

片斜角の長辺および短辺の長さの範囲 (PC)

呼び寸法	有効長 L (mm)	L1 / Ls の範囲	L1 · Ls の範囲	
			最小値	最大値
1800×1200～3500×2500	2000			
4000×2000～4000×2500	1500	1.5 以下	600 以上	製造方法に準じる
4500×2000～5000×2500	1000			